

と も え

2012

1

No.346



CONTENTS

新幹線札幌延伸に伴う現函館・新函館間 J R 経営分離問題について(活動のまとめ)

- ◆会員企業ご紹介..... P18
- ◆はこだて冬のイベント情報..... P23
- ◆新春紙上名刺交換..... P24

謹賀 新年

私たちは

北海道の暮らしを

応援します。

本年もどうぞよろしく

お願いいたします。

平成24年元旦



- 函館支店／函館市本町7番18号 TEL(0138)51-2211
- 函館駅前支店／函館市若松町20番1号 TEL(0138)22-8161
- 十字街支店／函館市末広町10番2号 TEL(0138)22-7141
- 亀田支店／函館市亀田本町37番3号 TEL(0138)42-6111

- 美原支店／函館市美原1丁目18番7号 TEL(0138)42-1711
- 東山支店／函館市東山2丁目4番38号 TEL(0138)55-2571
- 湯川支店／函館市湯川町2丁目27番30号 TEL(0138)59-3123

60年の感謝をこめて これまでも これからも



北海道銀行

ホームページ <http://www.hokkaidobank.co.jp/>

平成24年1月10日発行(毎月10日発行)

函館商工会議所報

と も え

1月号

(通巻346号)

謹賀新年

旧年中は格別のお引立てを賜り
厚く御礼申し上げます。

本年も会員皆様にとって、良い年で

ありますよう心からお祈り申し上げます。



■今月の表紙

新春の朝日を浴びる函館市街



(写真提供：小松英海氏)

CONTENTS

2	年頭所感	函館商工会議所 会頭 松本 榮一
4	新幹線札幌延伸に伴う現函館・新函館間 JR経営分離問題について(活動のまとめ)	
8	会議所の動き	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回臨時議員総会 ●部会 <ul style="list-style-type: none"> ・農水産部会幹事会 ・運輸・交通・港湾部会正副部会長会議 ●委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・銭亀沢支所運営特別委員会 ・青函圏委員会 ・広域連携委員会 ・国際経済交流委員会 ・総務委員会 ●函館市中心市街地活性化協議会設立総会 ●青森・弘前・函館合同台湾プロモーション ●はこだてクリスマスファンタジー ●第20回優良生徒表彰式・2011年全国そろばんコンクール ●高陽商工会議所歓迎懇親会 ●議員会 ●女性会 ●青年部
14	第53回優良商工従業員表彰式	
16	中小企業相談所だより	<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業経営イノベーションセミナー ●マル経融資 ●小規模企業共済制度 ●個別専門相談日程
18	会員企業ご案内	●(株)岡部広告室
19	新幹線情報	
20	新入会員ご紹介	
22	ご案内	<ul style="list-style-type: none"> ●各種検定試験日程 ●函館地域合同企業説明会 ●経済センサス活動調査 ●北海道最低賃金 ●今後のうごき
23	はこだて冬のイベント情報	
24	新春紙上名刺交換	
30	全面広告	
32	連載コラム	<ul style="list-style-type: none"> ●失敗から学ぶ企業再生 ●職員コラム

広告掲載企業

(株)北海道銀行函館支店	表紙裏
日本政策金融公庫	裏表紙裏
北海道地域ジョブ・カードサポートセンター	裏表紙
(社)函館地方法人会	P 30
函館青色申告会	P 31
(業)英知国際特許事務所	段下
イシオ食品(株)	段下
中小企業基盤整備機構	段下
(株)日経コンサルタント	段下
龍文堂印刷(株)	段下



函館商工会議所 会頭

松本 榮一

新年あけましておめでとうございます。

平成24年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は、3月に発生した東日本大震災により、被災地であります東北地方のみならず、我が国全体が精神的にも、経済的にも大きな影響を受けた大変な年でありました。被災された皆様が1日も早く元の生活に戻れるよう、また被災地がすみやかに復興されるよう、衷心より願っております。

当地域におきましても、西部地区から駅前周辺地域を中心に津波の直接被害を受けたところではありますが、被災された皆様のご尽力はもとより、本所をはじめ関係機関が一丸となって復旧支援に取り組んだことは、まだ記憶に新しいところでもあります。

この大震災では、とりわけ当地域の基幹産業の一つであります観光関連産業に大きな影響があり、それまでの新青森までの東北新幹線全線開業効果から一転し、大震災後は自粛ムードもあって、宿泊施設、飲食店等でのキャンセルが相次ぎ、特に、原発事故に係る

風評被害により、外国人観光客の減少が顕著となりました。

これまで本所では、関係機関と連携して、中国・韓国・台湾など東アジア地域からの観光客誘致のため、数々の観光プロモーション活動を行ってまいりましたが、大震災による外国人観光客の激減を受けて、当地域の安全性や観光地としての魅力をさらに積極的に発信し続けていくことが重要であると考えており、引き続きPR活動を展開してまいります。

幸い、台湾・中国等の旅行エージェントを招へいして当地域の安全性を確認していただき、昨年5月には台湾からのチャーター便の運航再開につながるなど、徐々に、大震災前の発着便数のレベルに戻ってきております。また、大震災後運休していた韓国定期便の函館・ソウル線についても、本所をはじめ関係機関による緊急要望活動の効果もあって、運航再開が早まっており、今後は、昨年減少した韓国からの入り込み客数の大幅な増加が期待されるところであります。

一方、昨年11月に道央自動車道が森インターチェンジまで延伸し、北海道新幹線の新函館開業もいよいよ4年後に迫っておりますが、航空路線も含め、こうした高速交通網の整備充実は、時間距離を短縮し、経済活動の広域化と活性化をもたらすとともに、地域間競争を激化させることにもなるため、この絶好の機をとらえ、本所が提唱する東北・北関東地方にも目を向けた広域的な企業展開を進める「南進政策」や当市を含む道南圏域全体をどのように発展させていくべきかの”ビジョン”について、地域全体で共有し推進していくことが必要であると考えており、前者に関してはまず青森・弘前と、後者に関しては当地域各商工会と、それぞれ具体的な連携について協議を始めているところです。

同時に、国による空港民営化問題が浮上しておりますが、函館空港を持つ当地域といたしましても、空港の活用とその役割について、地域の活性化に資するよう北海道とも十分議論をしてまいります。

また、懸案となっております函館市の中心市街地活性化対策につきましては、昨年11月に「函館市中心市街地活性化協議会」が設立され、本所といたしましても、関係機関と連携を図りながら、「コンパクトシティ」をキーワードに、魅力ある街づくりについての効果的な議論を進めてまいりたいと考えてお

ります。

また一方で、本所部会・委員会活動につきましては、各部長・委員長のご尽力により、それぞれの業界が抱える多様なテーマにより活発な議論がなされているところですが、各部会間・委員会間の相互連携を深め、さらに一層、有意義な事業展開ができるよう努力してまいりたいと存じております。また、組織基盤強化を目指して、役職員一丸となって推進しております「会員増強運動」につきましては、厳しい経済情勢下でもあり、残念ながら未だ思うような実績を挙げるに至っておりませんが、引き続き最大限の努力を続けてまいりますので、会員の皆様方におかれましてもご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域を取り巻く経済環境は、世界の金融不安が拡大するなかで、雇用や人口の減少等の課題を抱え、まだまだ厳しい情勢が続くものと思っておりますが、商工会議所がリーダーシップを発揮し、地域経済の活性化のため、全力を傾注してまいり所存でありますので、今後とも皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様とご家族にとって実り多く、健康で幸せな一年となりますよう心から祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

新幹線札幌延伸に伴う現函館・新函館間 JR経営分離問題について（活動のまとめ）

今まさに函館の将来を考えると、2035年札幌延伸までに盤石なまちづくりを進めよう！

平成22年3月からスタートした、北海道新幹線札幌延伸に伴う現函館・新函館間のJR経営分離（函館からの撤退）問題については、平成23年12月21日午前、函館市長が分離同意を表明し、本所として地域一丸となって行ってきたJR経営継続（経営分離反対）活動は一つの区切りを迎えました。今回は活動の経緯を総括して皆様にご報告いたします。

1 経営分離反対運動の背景にある市民感情（連絡船・新幹線・JRに対する思い）

- 1 北海道の玄関口だった青函連絡船時代の函館駅周辺の賑わい、昭和62年国鉄民営化による国鉄青函船舶鉄道管理局の解散と昭和63年青函連絡船終焉による職員減（人口減少）、駅周辺の衰退ぶりを見てきた経験
- 2 北海道が非協力的な中、昭和50年代から函館市、商工会議所が孤軍奮闘した新幹線誘致陳情活動への思い
- 3 経済界・市議会等全市民的な新幹線誘致運動も実らずに平成6年には新幹線駅が渡島大野駅（旧大野町）に決定、その際「新駅と現駅のアクセスは在来線を改良して新幹線車両を乗り入れる」として北海道と函館市が公印付きで締結した確認書・覚書が、平成17年に北海道から一方的に反故にされたことへの不信
- 4 「新幹線時代に対応する駅舎・函館の街の顔」として合意の上で平成10年から100億超の事業費（JR北海道への移転補償費含む）をかけて函館新駅舎・駅前広場を整備したにもかかわらず、平成22年にJR北海道が経営分離（函館からの撤退）を表明したことへの不信

2 並行在来線問題の協議を先送りしてきた北海道・函館市・JR北海道

- 1 平成11年、JR北海道は与党ヒアリングの際「函館本線の函館—小樽—札幌間のうち、都市圏輸送を除く区間」を並行在来線として表明したとするが、都市圏輸送区間がどこであるかは触れず、関係先へも正式な通知をしていなかったこと（同時期に「新幹線時代に備える事業」として函館駅前土地区画整理事業・函館駅新駅舎建設を進めていたことと矛盾）
- 2 平成14年、北海道も函館市も、道議会・市議会答弁（各議事録による）においては、上記並行在来線区間を承知していたが、平成22年3月の政府整備新幹線問題調整会議でJR北海道が資料に明記するまで、新函館・現函館間が経営分離区間であるという認識は持っておらず、その確認・調整を一切していなかったこと

3 JR経営分離区間明記後（平成22年4月～平成23年11月）のうごき

平成22年4月30日	函館市長、市議会議長、商工会議所会頭が北海道庁訪問、経営分離撤回要請
5月19日	函館市長、市議会議長、商工会議所副会頭がJR北海道訪問、経営分離撤回要請
5月24日	函館市議会が「北海道旅客鉄道(株)が新函館駅・現函館駅間の鉄道運行体制を維持・確保するよう求める決議」を全会一致で議決
6月2日	函館市議会が北海道、JR北海道訪問、JR経営継続要請活動
6月11日	函館市・市議会・商工会議所会談、オール函館での経営分離阻止で一致（25日に第2回）
6月22日	函館市長・道副知事・JR北海道社長による意見交換、議論は平行線
7月	函館商工会議所が会報特集および付録パンフレット作成頒布／ 函館市・商工会議所（市内商工会）・函館市町会連合会によるJR経営継続署名活動開始
8月5日	函館市・商工会議所・町会連合会等による街頭署名活動を実施
9月22日	函館市長・商工会議所会頭・函館市町会連合会会長がJR北海道訪問、111,481筆のJR経営継続署名を提出、あわせて道庁も訪問し趣旨要請
11月13日	北海道知事がJR北海道社長に対し経営分離の再考を要請したと北海道新聞が報道
11月29日	函館市長・商工会議所会頭が国土交通副大臣を訪問し一連の経緯説明とJR経営継続を要請
12月9日	JR北海道社長が定例会見において、経営分離方針を見直すつもりはない旨発言したと新聞各紙が報道
12月10日	北海道知事が定例会見において、JR北海道社長の見解を受け、今後もねばり強く交渉する旨コメントしたと新聞各紙が報道、以降1年間は進展なし

4 北海道からのJ R経営分離意向再通知後（平成23年11～12月）のうごき

平成23年11月24日	北海道知事名で函館市に対し「J R北海道が経営分離方針を堅持し、経営分離しても可能な限り（新たな鉄道運営主体へ）協力する」旨の文書を伝達、同日函館市工藤市長が商工会議所（正副会頭）に対し提案内容を説明
12月5日	北海道副知事が函館市長に面会、地元の合意形成とできるだけ早い回答を求める
12月9日	商工会議所が会員等に「新函館・現函館間J R経営分離に反対する理由」F A Xを送付
12月13日	北海道が「新函館・現函館間の鉄道運行等に関する基本的事項」、J R北海道が「現函館駅・新函館駅間の鉄道アクセスの充実について」とする文書を函館市へ提示／ 函館市長による主要5団体（市議会・商工会議所・町会連合会・都心商店街振興組合・朝市協同組合連合会）への両文書提案提示
12月14日	函館市による拡大11団体への両文書提案提示／ 商工会議所が会員等に「12月13日付J R経営分離案の問題点と見解について」F A Xを送付／ 主要5団体のうち市議会は態度表明せずと回答、4団体は経営分離反対と回答
12月18日	北海道知事が函館市長に面会、平成6年確認書を反故にしたことについて謝罪の上、改めて経営分離同意を求める
12月19～20日	函館市が市内約100団体（数は函館市が発表）に対し状況理解を求める説明行脚を実施
12月21日	函館市長が商工会議所を訪問し知事面会以降の経緯説明（分離同意意向には触れず）／ 函館市長がJ R現函館・新函館間経営分離に同意したと記者発表

5 函館商工会議所の見解（経営分離に反対する理由）

【経営分離がもたらす利用者の利便低下による地域への影響】

- 観光都市ながら全国J R駅から函館駅までの通し切符が買えなくなることで、函館駅「みどりの窓口」も廃止されてJ R券（新幹線指定席など）の購入や変更が不便になること
- 運賃の値上げ。J Rと別料金・別会社になることで遅延時の新幹線との待ち時間調整・乗り継ぎの保証がされないため、利用者は早めに新函館駅へ移動・滞在するようになり、函館駅および駅前地域での滞在時間が減少、土産や飲食などの消費も減少
- 地域住民は直接新幹線の駅まで車で移動するようになり、函館駅利用者が大幅減少、タクシーなどから悲鳴
- 平成27年新函館開業時は新幹線・在来線の対面乗換が見込まれているが、経営分離されると対面乗換改札が閉鎖され、階段を昇降して改札を出たり入ったり切符を買い直したりの手間が発生
- 三セク鉄道事業者、バス事業者などは、採算性を理由に早朝・深夜の新幹線発着の接続を行わない可能性が高く、新幹線の最大の利点である時間短縮効果が函館市民にとっては利活用できないおそれ
- 市民が函館駅を利用するきっかけを失うこと自体が、中心市街地活性化を公約に掲げる現市政と矛盾

【J R経営分離後の将来見通しの甘さへの懸念】

- 「同区間は採算が成り立つ」という人達の根拠のなさ。採算が取れるならJ R北海道が継続すべき
- 経営者・経済人の見地では、事業承継のためのデューデリジェンス（資産調査）は絶対であり、J R北海道による経営分離部分の情報開示（財務諸表等）もない状態で事業承継を論ずるのは非常識
- J R北海道が函館市に納めていた固定資産税収入（鉄道関係部分）は経営分離によってなくなり税収減に。函館市は新幹線開通に関係する固定資産税収増もないため、経営分離は市財政を悪化させる要素しかない
- 既に経営分離が決まっている木古内・五稜郭間や、新函館・長万部間の三セク経営と抱き合わせにされた場合、収支を大幅に悪化させる要因となりえる
- 人口減少社会のもと、将来を見据えた場合に鉄道事業は全国的な市場・資本・ネットワークでやるのが重要であり、三セクという経営形態・地域限定型ビジネスは、先行して経営分離された事例を見ても財務面で硬直化し採算面も厳しく、利用者を増やすサービス展開や投資が困難なことが明らか
- 函館駅前にある「J R北海道函館支社」の移転縮小等懸念、駅前地域の就業人口・経済波及減少懸念
- J R函館運輸所等、敷地の利活用見通しもなく、五稜郭車両所の存続見直しによっては車両検査にも支障

【並行在来線経営分離の仕組みについての疑問】

- 並行在来線の定義が官僚発言を書き留めただけの曖昧ルールであることの疑問（立法・行政の不作为）
- そもそも同区間は並行在来線にあたらないにもかかわらず、J R 北海道の都合で経営分離区間にされてしまったことへの疑問
- 特殊な企業である J R 北海道が国策により様々な支援と優遇を受けているにもかかわらず、経営分離による地域切り捨てを行うことへの疑問

6 函館市の姿勢転換（平成23年4月西尾市長→工藤市長）と工藤市長の発言変遷

- 平成23年4月12日 北海道新聞主催「函館市長選立候補予定者公開討論会」での並行在来線問題への言及（同紙記事から）

（西尾氏）「在来線を切り離すのは、過去の経過から、市として受け入れることにならない」

（工藤氏）「新函館と函館間の経営主体が問題になるのは何十年先の話か現時点で分からない。新函館開業時の収支状況を見ながら、新函館－函館間の鉄路確保を前提に、北海道や J R と協議していくべきものだ」



工藤市長発言は、J R 経営分離が新幹線着工条件となっていることを無認識であるか、あるいは認識をしていたとすれば選挙時の争点化を避ける狙いがあったと見ることができる

- 平成23年7月5日 市議会6月定例会 茂木議員質問に対する工藤市長答弁

「将来にわたり安定した経営基盤のもとで利便性、速達性の高い鉄道アクセスを確保するという姿勢を持ちながら、今後、地元経済界や市民団体等とお話をすると共に、議会にも御相談する中で、この問題の解決に向けて J R 北海道や北海道、沿線自治体と協議を重ねてまいりたい」



しかし、商工会議所には11月24日まで本件相談なし

- 平成23年11月24日午前 工藤市長定例記者会見

「J R 北海道がやりますという話は、全国的な問題を抱える中で、まず99%私は可能性としては難しいと思っています」



北海道の提案文書が渡島総合振興局長から渡されたのはこの日の午後のため、J R がやらない（経営分離姿勢は変えない）という情報は承知していたと見ることができる

- 平成23年12月7・8日 市議会12月定例会 茂木議員、紺谷議員質問に対する工藤市長答弁

「鉄路維持が最前提」「運営主体は J R が最も望ましい」「いろんな（経営の）選択肢を最初から排除する必要はない」「J R 経営継続について皆さんの願いを捨てたわけではない、今まだどちらに決めているということではない」「細かい課題について（道から）回答を求めているわけではなく大枠の議論をしている」



市長が経営分離に伴う地域の不利益について説明・協議する意向も対策もないと判断し、商工会議所は J R 経営分離に反対する理由を説明した F A X を会員向けに12月9日発行

- 平成23年12月12日 市議会12月定例会 小野沢議員質問に対する工藤市長答弁

「私は独断はしないので信じて頂きたい。議会の意向も無視して反対が多い中で決めることはしない」



商工会議所を含む主要5団体のうち4団体が経営分離反対、更に函館市は追加11団体への説明行脚を行うも過半数が態度保留で、経営分離賛成支持を得られなかったことが判明

- 平成23年12月18日 高橋北海道知事と会談後の記者会見における工藤市長発言

「市民の不信・不安・懸念を解消する努力をさせて頂かなければならないので、もう少し時間を頂きたいと（知事に）申し上げた」「（市民への説明期間は）国への回答期限もあることだから」



函館市は公称約100団体を一方的に追加選択し説明行脚を19～20日の2日間で実施（副市長・担当部長によるものも含む）したが、市民の不信・不安・懸念解消に足る説明ではなく、100団体の内訳も明らかにしていない

■平成23年12月21日 JR経営分離同意・北海道への伝達後の記者会見における工藤市長発言

「(経営分離同意の判断は)今朝決めた」「地元合意を得るのは難しい」「(経営分離反対の背景にある)市民の思いを大切にしながら判断しなければならないと強く思っていた」「新幹線によって客が減る他の三セク鉄道とは違って同区間は利用客が増える可能性があるし、財産と収支は三セクに移管されるが運営は全てJRがやる」「JRからも、黒字でやることを考えていい、道や函館市に毎年の赤字を負ってもらおうということは考えていない、と伺っている」「(同意を決断したポイントは)JRとの信頼関係を大切にしたいと思った。私の誠意に対してJR北海道は精一杯応えてくれたと考えているので同意した」

「市民の思いが大切」と言いながら、「JRとの信頼関係を大切にしたい」という経営分離同意(決断)理由によって「市民との信頼関係を損ねる」結果を招いた

■平成23年12月27日 北海道新聞朝刊 政府の札幌延伸着工方針決定を受けた工藤市長コメント

「非常に困難な状況の中で(同意を)判断したので、これで先送りとなれば私の立場はないところだった」

市民から見て立場をはき違えていること、自身が市民の信任を得ずに同意判断したということがわかる発言

7 JR経営分離反対運動についてのまとめ、今後の展開について

- 並行在来線経営分離に多くの不利益があることは、新幹線建設促進に関わる機関の人間は必ず知っていることでありながら、それぞれの機関の「不作為」や「サボタージュ」によるツケを全て、短期間のどさくさにまぎれさせて函館市民にまわしてきたところに、今回の問題の本質があります。そして、こうした理不尽な各機関からのツケまわしに対抗する力を、11万人署名実績以上に強力な函館の民意結集の形として持てなかったことが、JR経営継続(分離反対)を実現できなかった要因であると考えます
- JR経営分離反対運動には会員や市民の方々から様々な声を頂き、経営分離反対の激励意見が約7割、批判意見が3割でした。激励意見は全て実名・連絡先記載だったのに対し、批判意見で実名のものはごく僅かでした
- 批判意見の主なものは「(経営分離反対は)函館のエゴ」「三セク批判ばかりで前向きな策がない」「北海道全体の利益を考えよ(犠牲を受け入れよ)」というものでした。「函館のエゴ」とのご指摘については、函館の歴史的背景を、「前向きな策のなさ」については、商工会議所自身が三セク鉄道経営主体者になりえないため出しようがないこと、「北海道全体の利益」については、我々函館市民も北海道の一員として利益を享受する権利があり全体の利益のために進んで犠牲を払うのはおかしい(札幌は一切の犠牲を負わない)ということをそれぞれご理解願いたいと思っております
- また、「新幹線整備は政治判断の積み重ねであるため、並行在来線経営分離についても現実的対応が不可欠では」という指摘もあったものの、「現にある実」を摘んでしまったら、新たな種を植えてない限り「将来の実」はできません。行政にしかできない仕事・役割は、地域の不利益を最小限にとどめ、事業者が経済活動しやすい環境づくり・市民が不安なく生活できるまちづくりを行うことですが、そのビジョン(種を植えて育てる方針)はまだなく、今回の判断で将来経営分離の際は実(振興策)が残っていないのではという懸念も強くあります。商工会議所としては行政に対し、鉄道を始めとする道路・港湾・空港など地域の交通体系の利活用策・将来像策定のための提言を行っていきたく考えます
- 今回、函館市長がJR経営分離に同意したことについては、経営分離ルールそのものが曖昧なため、法に則った抗告などは難しい状況です。また、商工会議所自身は三セク鉄道経営主体者になりえないことから、今後は下記のような点について説明を求めていきたく考えます

【商工会議所として求めていきたい事項】

- 函館市には、JR北海道の固定資産税収入(鉄道関係部分)を失う歳入減少規模と、三セク設立に伴う歳出増規模、その他市民が被るデメリットに関しての見解を明らかにして説明すること、加えて商工会議所も参画した上で地域の交通体系についての利活用策・将来像を策定する場の設置要請など
- 北海道には、曖昧な表現ばかりの提案内容について、具体的な内容とスケジュールを明らかにしてもらうこと。例えば、JR北海道に運行委託を行うとしているために実態がつかめない三セク鉄道会社の事業範囲(責任範囲)やコスト分担に関すること、北海道自身が過去に文書で否定している運行委託方式の実現性についての説明を行うこと、JRへの経営状況情報開示を求めることなど

これまでのJR経営継続(経営分離反対)活動には、多くの方々からの激励とご理解を賜り、運動を推進する上で大きな力となりました。ご支援賜りました皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

会議所の うごき

第3回 臨時議員総会

第3回臨時議員総会を去る12月16日、議員92名（うち委任出席40名）が出席のもと、マリエール函館において開催しました。

当日は、本所役員・議員表彰規程による表彰が行われ別表の15名の方々が表彰されました。また、延べ34件の部会委員会報告を行った後、12月9日の常議員会を経て提出された議事に入り、副会頭1名の選任同意については、松本会頭が指名した函館環境衛生(株)久保俊幸氏を満場一致で選任しました。さらに、常議員の補充選任について審議がなされ、下記5名の方々をいずれも異議なく選任しました。

この後、議員会主催による歳末懇親会が能登谷議長や青森商工会議所議員会、学術機関のトップ

の方々を来賓として招いて開催し、恒例の抽選会等で終始和やかな雰囲気の中盛会裡に終了しました。



▲冒頭挨拶する松本会頭

副会頭の選任

平成23年12月16日付

久保俊幸
函館環境衛生(株)

敬称略



常議員の選任

平成23年12月16日付

東陽一	函館空港ビルデング(株)
井村守俊	北海道パーケット工業(株)
堀川昭雄	丸栄堀川紙器(株)
本間秀行	函館山ロープウェイ(株)
渡部禎一	函館日産自動車(株)

敬称略

役員・議員表彰規程による表彰

平成23年10月1日付

在任27年	2号議員	石境	黒	義勝	男則
在任9年	常議員	久保	保橋	俊則	幸行
	〃	高佐	藤澤	止俊	昭司
	〃	金	二本柳	慶捷	一美
	2号議員	渡吉	村澤	昭光	夫雄
	1号議員	杉村	上岩	和輝	夫輝
	〃	渡	辺		

退任議員（日付順）

前常議員	(故)須田	田新	輔
〃	田中	仁	
前専務理事	古川	雅	章

敬称略

議員の異動

平成23年11月11日付

◎2号議員

江差信用金庫函館支店

(新) 永 井 徹

(旧) 渡 邊 捷 美

敬称略

部 会

■農水産部会幹事会

農水産部会幹事会を去る11月17日、石尾副会頭、高野部長をはじめ10名が出席のもと、ロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、函館市農林水産部山田部長より函館市の水産業の現状と現在取り組んでいる振興策、TPPに参加した際の当市の一次産業への影響などについて説明を受けました。また説明後にはTPP協定をテーマに意見交換を行い、一次産業に深い関わりをもつ農水産部会として、各業界が抱える問題や今後の防衛策の検討などについて話し合い、TPPに対する理解を深めました。



▲TPP協定について認識を深める参加者

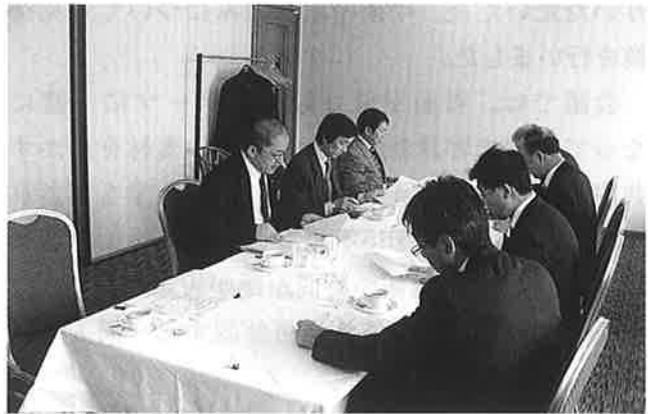
■運輸・交通・港湾部会正副部会長会議

運輸・交通・港湾部会正副部会長会議を去る12月6日、石尾副会頭、渡部部長をはじめ4名が出席のもと、ロワジールホテル函館において開

催しました。

当日は、今後の部会運営について協議し、前回の部会で継続審議とした空港民営化について、また当初の計画より完成が遅れる見込みの函館新外環状道路や高規格幹線道路等の整備状況について話し合いました。

これらの問題は、各産業に与える影響も大きく、今後も継続して情報発信していくとともに、時機を計りながら市と協調し、関係機関に要望活動を行うこととしました。



▲インフラの整備状況などを確認する参加者

委 員 会

■銭亀沢支所運営特別委員会

銭亀沢支所運営特別委員会を去る12月5日、佐藤副会頭、金子委員長をはじめ11名が出席のもと、銭亀沢支所において開催しました。

当日は、旧商工会の定期健康診断システムから、昨年10月よりスタートした、本所福利厚生会員サービス事業の定期健康診断へのスムーズな移行について協議を行い、従来よりも健診内容や健診料が向上し安価になる等のメリットが多くなることから、今年4月に開催することを決定しました。

また今後も、支所の運営や事業等を円滑かつ効率的に推進していく旨を確認し、情報交換を行いました。

会議所のうごき

委員会

■青函圏委員会

青函圏委員会と青森商工会議所青函圏交流特別委員会との合同委員会を去る11月21日、佐藤副会頭、小坂副委員長をはじめ函館から委員会メンバー6名、青森から10名が参加のもと、青森商工会議所において開催しました。

当日は、「青函交流の経過と今後の在り方について」と題した講話を青森商工会議所の名誉議員である青森ケーブルテレビ(株)会長の中野徹自郎氏よりいただいた後、今後の取り組みについて意見交換を行いました。

会議では、青函交流は観光をテーマに一緒になっての観光客誘致活動や、地域の素材を活かす共同のプロモーションを行うといった案もだされるなど、4年後の2015年北海道新幹線新函館開業により、青森・函館の時間距離が短縮されて、新たな青函圏交流の可能性を再確認する合同委員会となりました。



▲今後の青函圏交流について意見交換を行う参加者

■広域連携委員会

函館・北斗・七飯経済団体協議会を去る12月1日、本所広域連携委員と近隣4商工会(亀田・東・北斗市・七飯町)から、会長、副会長をはじめ17名が出席のもと、北斗市商業活性化支援センターエイド'03において開催しました。

この協議会は、4年後に迫った新幹線開業を見据え、地域の経済団体が一丸となって、地域経済の課題を話し合う場を持つことが必要との認識の

もと設立しました。

当日は、各団体の事業概要やイベントを紹介した後、各地域が抱えている問題などを話し合い、また、人口減少問題や観光PR等、函館圏として取り組むべきことを広域の視点から見て協議していくこととし、次回は2月を目途に七飯町で開催することとして閉会しました。



▲函館圏が取り組むべき課題を話し合う参加者

■国際経済交流委員会

国際経済交流委員会を去る12月6日、佐藤副会頭、成澤委員長をはじめ5名が出席のもと、ロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、国際経済交流に係る動きについて、韓国高陽市、台湾などの現況説明が行われ、まずは良好な状況にある台湾との交流について、検討を深めていくこととしました。

また昨年8月に姉妹都市となった高陽市との今後の交流についてや、さらに経済成長を続ける他のアジア諸国との交流についても意見が出され、いずれも今後の状況を見つつ調査研究を重ねることにいたしました。



▲韓国や台湾との交流について話し合う参加者

委員会

■総務委員会

総務委員会を去る12月12日、佐藤副会頭、辻委員長をはじめ11名が出席のもと、函館国際ホテルにおいて開催しました。

当日は、本所の就業規則と給与規程、職員退職金規程について、これまでの5回の委員会での議論を踏まえた案が示され、協議を行いました。

出席者からは、諸手当の計算方法等について様々な意見がだされましたが、最終的には正副委員長に一任することとし、総務委員会の案として上程することを決めました。



▲冒頭挨拶する佐藤副会頭

函館市中心市街地活性化協議会設立総会

函館市中心市街地活性化協議会設立総会を去る11月25日、委員22名をはじめオブザーバー4名が出席のもと、ロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、同協議会規約、役員、運営委員会規程等についてそれぞれ審議が行われ、いずれも出席者満場一致で承認されました。

同協議会は、本所、(株)はこだてティーエムオー、新都心五稜郭協議会、函館市をはじめ金融機関、大学など19団体24名で組織され、会長には本所永井副会頭、副会長には(株)はこだてティーエムオー渡辺代表取締役社長、新都心五稜郭協議会中野会長、函館市片岡副市長がそれぞれ就任し、事務局を本所に置くこととなりました。

同協議会の今後の活動として、函館市が作成す

る中心市街地活性化基本計画の実施・変更に関し必要な事項についての意見提出、函館市中心市街地の活性化に関する事業の総合調整などを予定しております。



▲会長就任にあたり挨拶を行う永井副会頭

青森・弘前・函館合同台湾プロモーション

青森・弘前・函館合同台湾プロモーションを去る11月30日～12月2日の日程で、3市の商工会議所、市役所、観光協会の関係者をはじめ、みちのく銀行杉本頭取ら11名が参加のもと、台湾を訪問し実施しました。

青函が連携しての台湾観光プロモーションは今回が初めてとなり、訪問団は中華航空、エバー航空、復興航空などの航空会社をはじめ、主要旅行会社5社を訪問し、青函圏の魅力をPRし、台湾観光客の誘致を行いました。また、今回の訪問で台湾との一層の連携強化を図ることができ、去る12月3日には、台湾観光協会東京事務所の江所長をはじめ3名が来函され、はこだてクリスマスファンタジーの点灯式に参加、その後は来場者にミニランタンを配布し台湾のPRを行いました。



▲パンフレット等で青函圏をPRする訪問団

会議所のうごき

はこだてクリスマスファンタジー

冬のイベントとして第14回目となる、はこだてクリスマスファンタジーが去る12月1日、赤レンガ倉庫群前に大勢の市民や観光客が詰め掛ける中、華やかなオープニングセレモニーで25日間の幕を開けました。

セレモニーでは、松本会頭や石黒実行委員長、工藤市長らが壇上に上がり、カウントダウンに合わせて約5万個の電球で飾りつけられたメインツリーを点灯すると、海上に花火が打ち上げられ、多くの観客を魅了しました。また、17日には今年度より親交を深めている弘前商工会議所や弘前市の関係者らが、ツリーの点灯を行った後、直径2メートルの巨大アップルパイを作り、会場に訪れた観客へ振る舞うイベントが行われ、多くの来場者を喜ばせました。



▲セレモニーに参加する松本会頭（右から2人目）

第20回優良生徒表彰式 2011年全国そろばんコンクール

第20回優良生徒表彰式・2011年全国そろばんコンクールを去る12月4日、71名の選手が参加のもと、本所会議室において開催しました。

当日は、大会に先立ち第20回優良生徒表彰式を開催し、日頃より熱心にそろばんに取り組む12名の生徒が優良生徒として表彰を受けました。その後は、2011年全国そろばんコンクールとして、予選を勝ち抜いた総合競技部門別優勝者11名による

記録会や、種目別競技決勝を行い、年内最後となる大会でそろばんの腕を競い合いました。



▲総合競技部門別優勝者

高陽商工会議所歓迎懇親会

函館市と高陽市が昨年8月に姉妹都市提携を結んだことを受け、経済界としても交流を図ろうと、高陽商工会議所からの訪問団が去る12月20日に運航を再開したソウル線で来函され、市内の企業視察などを行いました。また本所主催の歓迎懇親会では、高陽から高主席副会長をはじめ20名、本所からは松本会頭ら26名が参加のもと函館山山頂レガードにおいて開催し親睦を深めました。

なお、国際定期便ソウル線の運航再開を記念し、会員事業所の皆様を対象に、割引旅行代金から更に5,000円の助成を行うキャンペーンでは、多くの会員様からお申込をいただき、予定枠に達することが出来ました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。



▲交流を深めた両商工会議所の参加者

議 員 会

青森商工会議所議員会年末交流会が去る12月8日、本所議員会より加藤会長をはじめ4名が参加のもと、青森国際ホテルにおいて開催されました。

当日は、「今こそ😊(笑顔)!!」をテーマに、来賓を代表して加藤会長が「様々な困難があった2011年であったが、新幹線時代が到来した今、青函経済界の絆は今後、一層深めていかなければならない」と挨拶しました。

その後は、だじゃれクイズやお楽しみ抽選会などで、参加者は終始和やかに懇談し、青函圏の今後益々の発展を誓い合い交流を深めました。



▲来賓を代表して挨拶する加藤会長

女 性 会

11月例会を去る11月8日、斎藤会長、銭亀沢地区女性部をはじめ19名が参加のもと、旧相馬邸と旧函館区公会堂において開催しました。

当日は、函館を代表する歴史的建造物である旧相馬邸、旧函館区公会堂の見学会を行い、和洋折衷が特徴的な旧相馬邸では、貴重な掛軸、豪華なダイニングセットや陶器など、歴史的貴重な美術資料を見学しました。また、国の重要文化財に指定されている旧函館区公会堂では、女性会メンバーの林田鶴子さんによる案内で施設内を見学し、公会堂は豪商相馬哲平からの寄付で大半が建設されたこと、建物全てが日本人だけの手で建てられ

たことなど大変興味深い説明を受け、港を見渡せる素晴らしい景色の中で行われた例会は盛会裡に終了しました。



▲旧相馬邸を見学した女性会メンバー

青 年 部

フルマラソン検討委員会主管による12月例会を去る12月8日、メンバー 36名が出席のもと、ホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

当委員会は、各地で開催されているフルマラソン大会の情報収集を行い、フルマラソン大会開催による経済波及効果をより高める為の、勉強や検討を行っており、当日は、北海道新聞社事業局事業センター北海道マラソン担当の寺町誠志氏を講師として招き「フルマラソン開催に係る経済波及効果について」のテーマで講演いただきました。

講演終了後には、主管委員会よりマラソン大会参加者が函館に滞在し観光を楽しんでいただける大会の開催に向けての活動報告がなされました。



▲フルマラソンによる経済波及効果について語る寺町誠志氏

第53回 優良商工従業員表彰式開催

第53回優良商工従業員表彰式を去る11月29日、140名の受表彰者をはじめご来賓や事業主など多数の出席をいただき、ホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

当表彰式は、永年同一事業所に勤務され成績優秀として事業主からご推薦をいただいた従業員の皆様を表彰し、日頃の労をねぎらうとともに、より一層の活躍を目指していただくため毎年開催しており、今年度は168名のご推薦をいただきました。

式典では、40・30年の受表彰者と20・10年代表の受表彰者が壇上で賞状と記念品を受け取り、受表彰者168名を代表して(株)五島軒の野村泰伴さんから謝辞が述べられました。なお、永年に亘り地域経済を支え、企業発展のために努力を重ねてこられた皆様に心より敬意を表し全受表彰者をご紹介します。



勤続40年以上 (6名)

(敬称略)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
石田 信雄	西野会計 株式会社	日角 一男	株式会社 はこだて柳屋
国分 俊彰	函館信用金庫	野村 泰伴	株式会社 五島軒
江田 信二	函館信用金庫	伊藤 弘子	函館トヨペット 株式会社

勤続30年以上 (26名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
畑 祐子	西野会計 株式会社	川崎 満	株式会社 北食函館工場
猪狩 博	西野会計 株式会社	毛利 武次	株式会社 松本組
宮越 勝治	株式会社 菅原組	堀 儀之	株式会社 松本組
市川 順昭	株式会社 菅原組	小川 尚	函館信用金庫
山田 洋人	株式会社 菅原組	野中 郁子	株式会社 布目
西村 剛	有限会社 鮎金	小谷 泰夫	加藤組土建 株式会社
松尾 正博	日本通運 株式会社 函館支店	山口 寿市	株式会社 はこだて柳屋
長内 彰	東一函館青果 株式会社	石黒 正孝	原工業 株式会社
小田野誠悦	東一函館青果 株式会社	野崎 壮哉	函館トヨペット 株式会社
平山 裕子	株式会社 エスイーシー	住吉 恒	函館トヨペット 株式会社
片岡 高之	株式会社 エスイーシー	坂下 武	丸果函館合同青果 株式会社
渡部 亮	株式会社 エスイーシー	今田 千治	北海道乳業 株式会社
斉藤 孝司	株式会社 エスイーシー	若松 茂	北海道乳業 株式会社

勤続20年以上 (78名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
見上美香子	西野会計 株式会社	斉藤 香子	株式会社 エスイーシー
風間 絵美	東一函館青果 株式会社	雨谷 秀希	株式会社 エスイーシー
斉藤 泰子	東一函館青果 株式会社	打越いづみ	株式会社 エスイーシー
杉林 裕陽	株式会社 エスイーシー	小倉 祐一	株式会社 エスイーシー
河口 慎吾	株式会社 エスイーシー	松本 竜也	株式会社 エスイーシー
池田 裕司	株式会社 エスイーシー	滝沢 春雄	株式会社 サトーエージェンシー
小杉 篤	株式会社 エスイーシー	野田 順彦	ヤマダイ大作運輸 株式会社
横山 秀樹	株式会社 エスイーシー	棟方 修	株式会社 函市作業組
本間 英一	株式会社 エスイーシー	松谷 敏行	株式会社 松本組
渡辺 賢一	株式会社 エスイーシー	田沢 徹	株式会社 松本組
佐藤 利夫	株式会社 エスイーシー	川合 智	株式会社 松本組
長谷川 隆	株式会社 エスイーシー	鈴木 浩史	株式会社 松本組
久保戸貴之	株式会社 エスイーシー	秋山 浩	株式会社 松本組
南條 勝弘	株式会社 エスイーシー	吉田 優	株式会社 松本組
丸山 誠	株式会社 エスイーシー	田村 智子	株式会社 松本組

勤続20年以上 (78名) つづき

氏名	事業所名	氏名	事業所名
吉成 勝樹	株式会社 松本組	野邊地 里子	株式会社 五島軒
原 公俊	函館信用金庫	江口 幸司	株式会社 アキヤマ
外崎 忠義	函館信用金庫	鈴木 悟	及能 株式会社
高木 恵美	函館信用金庫	野上 達行	及能 株式会社
市川 理奈	函館信用金庫	吉田 誠	五稜郭タワー 株式会社
花海 富美子	株式会社 布目	相良 浩二	函館トヨベツト 株式会社
高橋 知代	株式会社 布目	内藤 英次	函館トヨベツト 株式会社
木村 敏昭	株式会社 布目	原田 進一	函館トヨベツト 株式会社
南木 正志	株式会社 布目	高橋 浩司	函館トヨベツト 株式会社
佐川 光廣	株式会社 トーショウビルサービス	三尾 拓也	道南清水サッシ 株式会社
村上 孝光	加藤組土建 株式会社	小野 啓子	道南清水サッシ 株式会社
藤峯 靖仁	加藤組土建 株式会社	大上 信親	ロワジュールホテル函館
永窪 里佳	加藤組土建 株式会社	大坂 保	ロワジュールホテル函館
工藤 達生	道南食品 株式会社	小野 吉典	北海道乳業 株式会社
小野 恵子	道南食品 株式会社	伊藤 宏光	北海道乳業 株式会社
松谷 良知	道南食品 株式会社	森広 純悦	北海道乳業 株式会社
畑中 克巨	道南食品 株式会社	八反田 久生	北海道乳業 株式会社
亀井 忠司	原工業 株式会社	本間 要一	北海道乳業 株式会社
平山 孝市	原工業 株式会社	阿部 克巳	北海道乳業 株式会社
長谷川 薫	原工業 株式会社	大橋 立磨	ケーアイシー 株式会社
刀祢 博司	株式会社 五島軒	菊池 寿人	函港作業 株式会社
草皆 圭二	株式会社 五島軒	高谷 康博	株式会社 ホテル函館ロイヤル
石川 啓子	株式会社 五島軒	竹内 博之	株式会社 ホテル函館ロイヤル
石田 正幸	株式会社 五島軒	脇坂 裕	株式会社 まるかつ水産

勤続10年以上 (58名)

氏名	事業所名	氏名	事業所名
林 紀子	野村不動産 株式会社	村田 正昭	原工業 株式会社
上野 亮	函館船具 合資会社	大日向 敏一	原工業 株式会社
高橋 美保子	函館運搬機整備 株式会社	石塚 啓介	株式会社 五島軒
坂口 英人	株式会社 サトーエージェンシー	福井 祐一	株式会社 五島軒
田中 幸子	前田産業 株式会社	数馬田 昇	株式会社 アキヤマ
高見 千鶴	前田産業 株式会社	横山 昌平	及能 株式会社
神 哲也	ヤマダイ大作運輸 株式会社	木村 裕美	及能 株式会社
長内 保	株式会社 函市作業組	中江 健太	及能 株式会社
立花 誠真	株式会社 函市作業組	鳴海 美保子	及能 株式会社
幅崎 信秀	函館信用金庫	仲村 良広	道南清水サッシ 株式会社
今西 大地	函館信用金庫	加藤 大育	道南清水サッシ 株式会社
奥谷 亜紀子	株式会社 布目	三輪 生治	株式会社 明匠建工
佐々木 康寿	株式会社 布目	木村 和也	エコー保険 株式会社
岨 唯子	株式会社 布目	岩渕 喜幸	エコー保険 株式会社
加賀 大輔	樺電工業 株式会社	上林 康洋	佐藤木材工業 株式会社
馬場 裕次	株式会社 トーショウビルサービス	増田 大祐	佐藤木材工業 株式会社
中本 豊子	株式会社 トーショウビルサービス	笹本 博幸	佐藤木材工業 株式会社
川口 英昭	株式会社 トーショウビルサービス	吉岡 祐子	北海道乳業 株式会社
近藤 良江	有限会社 ラッキーピエログループ	杉澤 竜司	北海道乳業 株式会社
濱道 美也子	有限会社 ラッキーピエログループ	鳥巢 善輝	北海道乳業 株式会社
川和田 一徳	加藤組土建 株式会社	三春 有弘	北海道乳業 株式会社
古城 直樹	株式会社 はこだて柳屋	平藤 達政	株式会社 佐々木事業所
田口 等	株式会社 はこだて柳屋	福原 信吾	株式会社 佐々木事業所
横畑 旬子	有限会社 オフィスK	北山 智教	株式会社 佐々木事業所
安澤 智子	有限会社 オフィスK	須藤 則子	株式会社 不二屋本店
松田 貞子	道南食品 株式会社	佐藤 俊弘	ケーアイシー 株式会社
清水 信儀	道南食品 株式会社	領毛 隆志	ケーアイシー 株式会社
菅野 洋子	道南食品 株式会社	水間 清一	函港作業 株式会社
上野 矢功一	道南食品 株式会社	佐野 正志	函港作業 株式会社

中小企業相談所 だより

金融	経営改善	税務
労務	法務	新規創業
取引照会	情報化	環境対策

どんな事でもお気軽に!
各種申込・お問合せは
函館商工会議所 TEL 0138-23-1181
銭亀沢支所 TEL 0138-58-3057

中小企業経営イノベーションセミナー

チャンスを生むビジネスモデルとは?

～震災・デフレ・円高の外部環境下の商機開拓～

震災やデフレ・円高など経営環境が激変している現在、従来のビジネスモデルでは対応しきれない事も多くなってきています。そこで、本セミナーでは今の時代に即したビジネスモデルを考えるために必要な知識と、それを経営計画へ反映する方法を学びます。この機会にぜひご参加下さい。

講演内容

1. 複雑な壁を乗り越えるビジネスモデルの考え方
2. 震災半年後の産業動向…今、何が起きているのか
3. 公的な中小企業支援策とその活用方法…使えるもの、使えないもの
4. 経営における革新の失敗事例・成功事例から学ぶ
5. 経営・営業の身近なところからヒントを見つける方法
6. ビジネスモデルを経営計画に…利益を実現する計画の立て方

講師

牛島経営財務
コンサルティング 代表
牛島 邦秀 氏

■日時 平成24年1月26日(木) 14:00～16:00

■会場 函館商工会議所 3階会議室 (若松町7-15)

■参加費 無料

■定員 50名 (定員に達しましたら締切とさせていただきます)

■主催 函館商工会議所

■お申込み・お問合せ 函館商工会議所 経営支援課 (担当: 鎌田) TEL23-1181

がんばる経営、応援します! 「マル経融資」

マル経融資制度は、経営改善を図ろうとする小規模事業者をバックアップするため、本所が日本政策金融公庫に推薦し、**無担保・無保証人・低利**で融資する制度です。

■貸付限度額… **1,500万円** ■金利… **1.85%** (平成23年11月末現在)

■返済期間… **運転7年** (うち据置1年)、**設備10年** (うち据置2年)

◎ご利用にあたっては下記の条件を満たしていることが必要です。

- ★従業員20人以下 (但し商業・サービス業は5人以下)
- ★事業実績が1年以上あり、函館市内に事業所のある方
- ★期限の到来した納税を完了されている方



会議所スタッフ(経営指導員)が決算書などを基に融資相談を行い、審査に向けた推薦書を作成いたします。融資実行まで日数がかかりますので、お申込みは余裕を持ってお早めをお願いいたします。

まずは本所<TEL23-1181>あて「マルケイの件で」とお電話下さい。

経営者の退職金

小規模企業共済制度

小規模企業共済制度は退職後のゆとりある生活を応援する安心の共済制度です。

■全国で約120万人の経営者が加入

小規模企業共済制度は、昭和40年に発足した法律に基づく制度であり、国が全額出資している独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営しています。掛金とその運用収入はすべて契約者に還元され、運営経費は全額国からの交付金により賄われています。

■掛金は全額所得控除

掛金は全額が「小規模企業共済等掛金控除」として課税対象所得から控除できます。

■無理のない掛金 月額1,000円～70,000円の範囲で自由に選択

加入後も掛金月額は増額・減額できます（減額には一定の要件が必要です）。また払込方法も「月払い」「半年払い」「年払い」からお選びいただけます。

■共済金の受取りは一括・分割・併用の3タイプ。税制面で大きなメリット

共済金は廃業・退職時に受け取り、満期はございません。受取方法は「一括」「分割10年・15年」「一括と分割の併用」いずれかをお選びいただけます。税法上、一括受け取りの場合「退職所得扱い」、分割受け取りの場合「公的年金等の雑所得扱い」となります。

■緊急時には契約者貸付けの利用が可能

契約者（一定の資格者）の方は、納付した掛金合計額の範囲内で、事業資金等の貸付が可能です。

加入条件

- 常時使用する従業員が20人以下（商業・サービス業では5人以下）の個人事業主および会社の役員
- 小規模企業者たる個人事業主に属する共同経営者（個人事業主1人につき2人まで）

◇詳しいパンフレットを用意しております◇

◇お問合せ：函館商工会議所 経営支援課（担当：鏡）TEL23-1181 ◇

個別専門相談ご案内

（無料）相談は事前予約制となっておりますので、電話 23-1181にご予約願います。

低利な融資制度についてのご相談

◆金融個別相談

実施日／1月18日(水) 午前中

相談員／日本政策金融公庫函館支店 国民生活事業担当者

法律に関わるお悩みごとについてのご相談

◆法律相談

実施日／1月26日(木) 13:00～

相談員／弁護士 菅原 憲夫氏

信用保証制度についてのご相談

◆保証協会個別相談

実施日／2月14日(火) 13:30～

相談員／北海道信用保証協会函館支店担当者

特許・商標などの出願・活用についてのご相談

◆発明相談

実施日／1月25日(水) 10:00～16:00

相談員／英知国際特許事務所 所属弁理士

経営上の様々な課題についてのご相談

◆経営相談

実施日／2月8日(木) 12:30～

相談員／公認会計士 鎌田 直善氏



無料 発明・商標相談

8・11・2月を除く毎月第4水曜日 13:00～16:00 函館商工会議所にて（但し、12月は第3水曜日）

函館の皆様と共に41年…私たちが皆様からのご相談にお答えします

特許業務法人 英知国際特許事務所

会長弁理士 細井 貞行
所長代理弁理士 七條 耕司
弁理士 堀内 香菜子

所長弁理士 岩崎 孝治
弁理士 鈴木 康裕
弁理士 松尾 賢治

副所長弁理士 小橋 立昌
弁理士 神谷 直慈
特別顧問 岡本 清秀

■東京本部 ■〒112-0011 東京都文京区千石4-45-13
■神奈川支部 ■〒224-0006 神奈川県横浜市都筑区荻田東1-23-2
■浜松支部 ■〒430-0806 静岡県浜松市中区木戸町5-11
■山形支部 ■〒994-0026 山形県天童市東本町1-2-20

TEL:03-3946-0531(代) FAX:03-3946-4340
TEL:045-532-3827 FAX:045-532-3828
TEL:053-461-5662 FAX:053-460-6027
TEL:023-651-6102 FAX:023-651-6102

<http://www.eichi-patent.jp>

会/員/企/業/ご/紹/介

(有)岡部広告室

- ◎代表者 岡部 博之
- ◎住所 函館市陣川2-9-5
- ◎TEL 0138-35-3510
- ◎FAX 0138-35-3511
- ◎URL <http://www.ad-okabe.com>



◆開業はいつですか。

前職の広告代理店を退職後、単に空いている広告枠を埋めるだけの営業に飽き、お客様が本当に必要としている広告を提案いたしたく、平成15年3月に開業いたしました。

◆PRをお願いします。

道南地区で唯一YAHOO! JAPANリスティング広告の正規代理店をしております。単にHPを作成するだけではなく、検索キーワードを上手に運用し、繁盛するHPを常にご提案しております。スマートフォン等用のHPも作成しておりますので、お気軽にご相談ください。



繁盛する活きた ホームページの作成承ります!!

◆事業内容について教えてください。

ホームページの作成・管理・運用を中心として、新聞・TV・ラジオ・フリーペーパー等の広告立案からチラシやポスター・名刺等のデザイン・印刷・折込手配まで、トータルのプランニングの提案をさせていただきます。

◆今後の目標について教えてください。

最先端のIT技術や見た目のデザイン性ばかりに囚われるのではなく、webマーケティングを最大限に活用したホームページの作成を追求していきたいです。繁盛する活きたホームページとクリエイティブを融合することで、函館から全国への発信のお手伝いをさせていただきたいと考えております。

異国情緒あふれる
いさりびの街



イシオ食品株式会社

代表取締役社長 石尾 清 広

〒042-0933 函館市湯浜町1番17号
TEL. 0138-53-0102 FAX. 0138-55-5536
URL <http://www.ishiofo.co.jp>

- はこだての味の数々
- 函館こがね
 - 焼するめ
 - くんせいさきいか
 - 一夜干しあたりめ
 - いかくんせい
 - 函館ろまん

新幹線開業はゴールではなく新たなスタート

～あと4年 新幹線の活用に向け どのように取り組むべきかを考える～

北海道新幹線 道南フォーラムin北斗

北海道新幹線新函館開業が4年後に迫り、工事も目に見える形で進捗するなど、開業に向けた期待感はより高まってきています。このような中、新幹線の開業効果を最大限に活用するために、今後どのような取り組みを行っていくかを考えていただくため「北海道新幹線 道南フォーラムin北斗」を開催いたします。ぜひご参加ください。



■日時 平成24年1月18日(水) 15:00～17:30 (開場14:30)

■会場 北斗市総合文化センター かなで～る (北斗市中野通2丁目13-1)

(定員 200名)

開会挨拶 北海道渡島総合振興局長 永井 正博 氏

内容

講演① (15:15～15:45) 「北海道新幹線の建設の現状について」
鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局 次長 安東 祐三 氏

講演② (15:45～16:30) 「東北新幹線開業から1年」
(財)青森地域社会研究所 地域振興部長 竹内 慎司 氏

講演③ (16:45～17:30) 「新青森駅開業に向けた青森市の取り組みについて」
青森市 経済部 新幹線開業対策課長 竹内 芳 氏

お申込み 北海道渡島総合振興局 地域政策部 地域政策課 新幹線推進室
お問合せ 〒041-8558 函館市美原4丁目6-16 TEL 0138-47-9431 FAX 0138-47-9203

主催 北海道新幹線建設促進道南地方期成会、渡島総合振興局、檜山振興局 共催 北斗市

その他 平成24年1月16日から27日までの12日間、「かなで～る」1階エントランスホールにて、北海道新幹線PRパネル展と縄文文化の世界遺産登録に向けたPRパネル展を開催しています。



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 (略称:中小機構) 北海道支部

北海道で頑張るあなたをもっとサポート!

中小機構 北海道 の支援メニュー

経営支援業務

- ・経営相談、専門家派遣 (窓口相談・専門家派遣による適切なアドバイス)
- ・農商工連携、地域資源活用、新連携 (異分野連携、地域資源の活用サポート)
- ・販路開拓支援 (販路開拓の支援、取引先との出会いの場を提供)

インキュベーション施設 「北大ビジネス・スプリング」

(大学等との連携による新事業展開支援、事業化のための賃貸スペース提供)

まちづくり・中心市街地活性化

(まちづくり、中心市街地の活性化をサポート)

人材育成支援

(計画的な人材育成のための各種サポート)

小規模企業共済 経営セーフティ共済

(もしもに備えてセーフティネットをサポート)

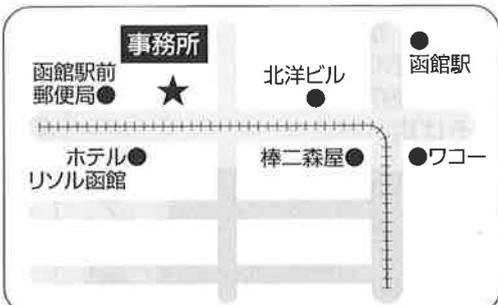
産業用地の提供

(お求め安い価格で産業用地を提供)

〔函館オフィス〕

- ・住所 〒040-0063 函館市若松町7-15 函館商工会議所ビル2F
- ・TEL 0138-24-6600 FAX 0138-24-6611
- ・URL <http://www.smrj.go.jp/hokkaido>

函館オフィス アクセスマップ



〔北海道支部〕

- ・住所 〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地7 ORE札幌ビル6F
- ・TEL 011-210-7470 FAX 011-210-7480

新入会員ご紹介

①代表者名 ②住所 ③電話番号 ④営業内容 (50音順、敬称略)

(株)栄電社

- ① 池内 卓也
- ② 江差町字本町6
- ③ 0139-52-1952
- ④ 電気機械器具卸売業



クールカット

- ① 小川 洋司
- ② 日吉町1-29-4
- ③ 53-1718
- ④ 理容業



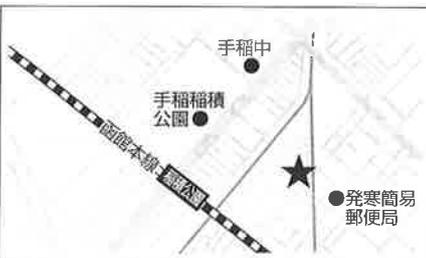
(株)KDS かもめ代行サービス

- ① 南部 洋
- ② 本町4-8
- ③ 33-5511
- ④ 運転代行業



(株)K・どりーむ

- ① 堀内 均
- ② 札幌市手稲区前田3条3-2-3
- ③ 011-684-9514
- ④ 介護業



システムカノウ(株)

- ① 川上 俊彦
- ② 中道2-45-10
- ③ 54-2661
- ④ 通信機器販売業



(株)ジャパントレーディング函館

- ① 高橋 正人
- ② ●本社
弥生町10-7 23-0887
- ファクトリー店(認証工場)
西桔梗町213-84 49-9488
- 第二展示場
西桔梗町850-78
- BPファクトリー ビーチボーイズ店
浅野町4-14 45-3334
- ④ 自動車卸売業

(株)新函館ライブラリ

- ① 大西 剛
- ② 若松町18-1 TMOビル501
- ③ 24-5113
- ④ インターネット付随サービス業



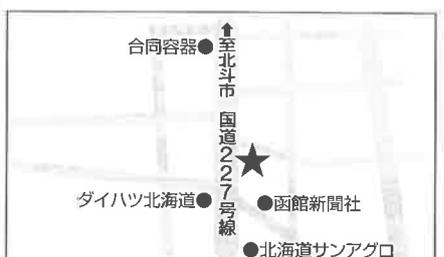
ソネ食品(株)

- ① 水山 康平
- ② 北斗市七重浜1-2-1
- ③ 49-4662
- ④ 水産加工業



(株)田島運輸

- ① 田島 勝美
- ② 港町1-17-18
- ③ 41-3657
- ④ 運送業



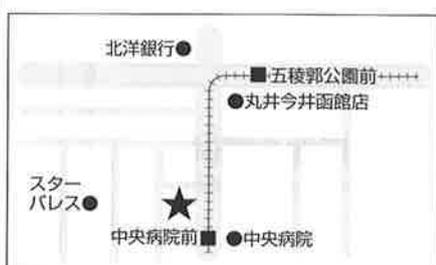
根崎やたら家

- ① 岩崎 康平
- ② 高松町333-3
- ③ 57-4397
- ④ そば店



(株)函館ジムキサービス

- ① 宇美 智
- ② 本町3-12 カーニープレイスビル4F
- ③ 30-6220
- ④ 事務用機械器具卸売業



hairmake cache cache

- ① 富所 恒子
- ② 西桔梗町745-60
- ③ 87-0431
- ④ 美容業



訪問介護ステーション 輪

- ① 酒井 雅子
- ② 山の手1-6-15
- ③ 85-6185
- ④ 介護業



(名)本間紙工所

- ① 本間 信太郎
- ② 若松町34-4
- ③ 26-1382
- ④ 紙製品製造卸売業



本号では12月9日までにお申込みを頂いた会員さんを紹介させていただきます。

ご入会誠に有難うございました。

掲載にあたり、ご不明な点がございましたら企画情報課までお問合せ下さい。

(担当:上野) TEL 23-1181

会員増強キャンペーン実施中!!

新入会員様のご紹介をお願いいたします。

～地域商工業者の力が商工会議所の力に、そして地域経済の力となります～

現在本所では、組織基盤を強化し地域経済の活性化を図るため、役員議員や職員が一丸となって会員増強に取り組んでおり、商工会議所会員として、金融・税務、福利厚生、商取引、人材育成など、経営支援のための各種サービス事業を、企業経営にお役立ていただくことを願っております。

会員企業の皆様におかれましても、お知り合い、関係先の事業所を是非ご推薦、ご紹介賜りますようお願い申し上げます。

ご連絡先 企画情報課 (担当:早稲田・上野) TEL23-1181



定期健康診断割引制度

本所では、事業主・従業員の方々の健康管理の充実、そして健康増進に向けた意識を高めていただくため、定期健康診断の割引サービスを行っております。

■法定検診Aコース (39歳以下の法定義務健診)

通常検診料 3,675円 会員割引料金 1,500円

■法定健診Bコース (40歳以上の法定義務健診・従業員雇用時に必要な健診)

通常検診料 7,350円 会員割引料金 5,000円

■生活習慣病一般健診Cコース (協会けんぽ加入者)

通常検診料 18,007円 (協会けんぽ加入者は補助があるため6,843円) 会員割引料金 6,000円

お問合せ先 企画情報課 (担当:梨木) TEL23-1181



講演・講習会 調査・診断 企画・出版

株式会社 日経コンサルタント

東京都中央区築地2-15-20 TEL(03)3543-4321(代) FAX(03)3546-2644

- 全国商工会議所及び商工会講演・講習会の企画立案講師派遣
- メーカー・総合商社経営管理指導 (コンサルティング)
- 代理店・販売店経営診断指導 (ディーラーヘルプス部)
- 地域開発・商店街再開発計画指導
- 企業内教育の企画と講師派遣
- 人事労務相談指導 (心理相談部)
- 地域振興対策・調査研究・診断指導

ご案内

簿記

～財務が読める、会社が読める。～

簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理して、企業の経営成績と財政状態を明らかにする技能です。企業の活動を適切、かつ正確に情報公開するとともに、経営管理能力を身につけるために、簿記は必須の知識です。

■第130回2～4級

施行日／平成24年2月26日(日)
募集期間／1月10日(火)～1月26日(木)
受験料／2級4,500円 3級2,500円 4級1,600円

販売士

～「買いたい」をつくる。「働く力」が身につく。～

販売士は、流通業界で唯一の公的資格として、販売・接客技術はもちろん、販売促進に向けた企画立案や在庫管理、マーケティングにいたるまで、幅広く実践的な専門知識が身につきます。小売業・流通業をはじめ業種・業態を問わず、顧客満足度を高めるノウハウを修得できます。

■第39回1級・第69回3級

施行日／平成24年2月15日(水)
募集期間／12月15日(水)～1月20日(金)
受験料／1級7,500円 3級4,000円

厚生労働省委託事業 地域雇用創造推進事業

新しい人材の採用で企業力の向上を！

函館地域合同企業説明会

地域求職者と地元求人企業との就職マッチングのための合同企業説明会を開催します。新たな中途採用需要の掘り起こしと、求職者の早期就職を図るとともに求人活動の支援を行います。企業力を向上させ、貴社の将来を担う人材を採用しませんか？

日時／平成24年2月16日(木) 13:00～16:30
会場／ロワジールホテル函館 3階「彩海」
対象／求人企業：函館市内に事業所を有する企業
求職者：現在求職中の方および在職者
参加費用／無料
お申込み・お問合せ先／はこだて雇用創造推進協議会 TEL 0138-27-3455



経済センサス活動調査

- 日本のすべての事業所・企業の実態を調べる調査です！
- 1月の中旬以降、調査員が皆さまのところに訪問します。
- ※書類が郵送で届く場合もあります。
- 調査項目には従業員数などのほか、売上高および費用などの経理項目も含まれます。



期日は2/1(水) 記入済みの調査票は、記入漏れがないかご確認の上、提出用封筒に入れ、2月1日以降にご提出下さい。

(お問合せ先) 函館市総務部総務課統計担当 0138-21-3651

必ずチェック最低賃金！使用者も労働者も

北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者およびその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **705円**
効力発生日 平成23年10月6日

厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署(支署)

今後のうごき

1月	
17 (火)	女性会1月例会（新年会）
18 (水)	金融個別相談
23 (月)	・ 議員会役員会 ・ 役員新年会
24 (火)	銭亀沢支所新年交礼会
25 (水)	・ 発明相談 ・ 青年部新年交礼会
26 (木)	中小企業イノベーションセミナー「チャンスを生むビジネスモデルとは？」
27 (金)	・ 法律相談 ・ 青年部役員会
2月	
1 (水)	・ 2012はこだて冬フェスティバル「光の小径」(～7日) ・ はこだてイルミネーション&光の小径点灯ウォーク
8 (水)	経営相談
11 (土)	2012はこだて冬フェスティバル「五稜郭ファミリーイベント」(～12日)
14 (火)	保証協会個別相談
15 (水)	・ 第39回1級・第69回3級販売士検定試験 ・ 金融個別相談

【12月22日現在】

2012

はこだて冬イベント情報!

昨年12月1日から始まっている2012はこだて冬フェスティバルと五稜星の夢をご紹介します。

たくさんのイルミネーションで彩られたロマンチックな函館の街並みを体験し、冬の思い出づくりにぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



はこだてイルミネーション

「光に包まれた愛の街・函館」をテーマに、異国情緒あふれる元町地区の街並みと代表的な坂道が約5万個のイルミネーションで輝き、光の回廊で函館の夜を美しく彩ります。

日時 2011年12月1日(木)~2012年2月29日(水) 日没~22:00
場所 二十間坂、二十間坂通り、八幡坂、基坂、元町公園

はこだて「光の小径」

観光で訪れる皆さんと函館市民が共同でワックスキャンドルを手作りし、元町地区や市内各所に優しいほのかな明かりを灯して歩く参加型イベントです。

日時 2012年2月1日(水)~7日(火)
場所 2月1日(水)~2日(木)
・元町公園・港が丘通り・南部坂周辺
・函館市地域交流まちづくりセンター
2月3日(金)
・五稜郭公園
2月4日(土)・5日(日)
・函館山登山道
2月6日(月)・7日(火)
・南部坂周辺
・函館市地域交流まちづくりセンター



函館山登山道ウォーク

函館山登山道約4kmにワックスキャンドルを設置して、キャンドルの明かりで浮かび上がる登山道を散策。キャンドルの光と夜景の融合による函館ならではの「冬」を堪能できます。

日時 2012年2月4日(土)~5日(日) 16:00~19:00(点灯時間16:30~19:00)
ルート 函館山登山道
受付場所 函館山ロープウェイ山麓駅
参加料 大人(中学生以上)500円、小人250円
※函館山ロープウェイ片道搭乗料を含む

はこだてイルミネーション&点灯ウォーク

冬の函館の魅力再発見を目的にイルミネーションを楽しみながら観光ボランティアの観光ガイド付きウォークを開催します。

①日時 2012年2月1日(水) 18:00~19:30(点灯時間16:30~19:30)
場所 西部地区 (元町公園~港が丘通り~八幡坂~二十間坂~カフェペルラ)
定員 100名先着順(当日受付・参加無料)
②日時 2012年2月2日(木) 18:00~19:00(点灯時間16:30~19:30)
場所 西部地区 (元町公園~港が丘通り~八幡坂~二十間坂~FMいるかビル)
定員 100名先着順(当日受付)
参加料 大人(中学生以上)500円、小人250円

ワックスキャンドル製作体験&五稜郭タワー展望

ワックスキャンドルの製作体験後、五稜郭タワーの展望台から、五稜星の夢イルミネーションと光の小径の明かりによる景観が満喫できます。

日時 2012年2月3日(金) 16:00~19:00(点灯時間16:30~19:00)
場所 五稜郭タワー、五稜郭公園
受付場所 五稜郭タワーアトリウム
参加料 大人1,000円、中・高校生800円、小学生600円、小学生未満無料
※五稜郭タワー搭乗料を含む
※ホットドリンク&絵はがきプレゼント (小学生以上の方)

五稜星の夢イルミネーション

五稜郭の堀を約2,000個のイルミネーションで飾り、五稜の星形を浮かび上がらせます。

日時 2011年12月1日(木)~2012年2月29日(水) 17:00~22:00
場所 特別史跡五稜郭跡

お問合せ先/
はこだて冬フェスティバル実行委員会
TEL 0138-27-3535
<http://www.hakodate-illumination.com/>

頌

(掲載は五十音順になっております)

有限会社赤坂葬祭
代表取締役

赤坂成二

大縄町二一〇

株式会社
近藤商会
代表取締役会長

相川正夫

西桔梗町五八九
流通センター

HTK

函館東興株式会社
代表取締役社長

朝倉友和

西桔梗町八六二一五

株式会社中合棒二森屋店
店長

安藤正和

若松町一七一二

函館空港ビルディング株式会社
代表取締役社長

東陽一

高松町五一
函館空港内

名美興業株式会社
代表取締役社長

阿相博志

松川町三〇一七

株式会社第一印刷
代表取締役

板垣孝雄

西桔梗町八二八一

株式会社布目
代表取締役社長

石黒義男

弁天町一七一〇

イシオ食品株式会社
代表取締役社長

石尾清広

湯浜町一七一七

北海道サンアグロ株式会社
代表取締役

池上和義

北浜町九一二三

北海道ガス株式会社函館支店
支店長

梅村卓司

万代町八一

JTB

函館支店
支店長 梅津 真平
青森支店
支店長 鈴木 雅之

北海道パーケット工業株式会社
代表取締役社長

井村守俊

北斗市追分八一一四

函館地方電気工事協同組合
理事長

伊東研一

日乃出町七一二二

春

函館どつく株式会社
代表取締役社長

大村 靖夫

弁天町二〇一三

大一興業株式会社
代表取締役

大越 信幸

昭和二一四三一五〇

加藤組土建株式会社
代表取締役社長

加藤 健太郎

千歳町三一二

社団法人日本ツーバイフォー建築協会会員



代表取締役
角田 隆芳

ホリウチ 隆芳 企画

〒040-0001 函館市五稜町35番1号ホム企画ビル4階
TEL. 0138-54-1230 (代) FAX. 55-1233
【ホームページアドレス】<http://www.hori-rikaku.co.jp>

函館方面公安委員会指定
株式会社函館中央自動車学校
代表取締役社長

鍵谷 良一

西桔梗町五一五一一
(〇一三八一四九一二二三一)

株式会社テーオー小笠原
代表取締役社長

小笠原 康正



港町三一八一一五

トヨタカローラ函館株式会社
代表取締役社長

河村 祥史

昭和四一三六一三六

函館三菱ふそう自動車販売株式会社
代表取締役社長

川島 晃

昭和三一三二一二六

函館青果物商業協同組合
理事長

川崎 正博

西桔梗町五八九一二五

株式会社東京商工リサーチ函館支店
支店長

川上 裕

本町六一七

函館環境衛生株式会社
代表取締役

久保 俊幸

金堀町五一二三

共栄運輸株式会社
代表取締役

北村 隆

海岸町二二一五

キザイ産業株式会社
会長

北川 繁

昭和三一二九一四一

函館トヨペット株式会社
代表取締役社長

河村 隆平

石川町一六九一三五

頌

三井生命保険株式会社函館支社
函館支社長

佐藤 一磨

梁川町五―八

株式会社松本組
代表取締役社長

芝原 廣一

吉川町四―三〇

株式会社富士サルベージ
代表取締役社長

須田 新崇

大町八―二五

株式会社トーションヨウビルサービス
代表取締役社長

境 勝則

中道一―一―一二

佐藤木材工業株式会社
代表取締役会長

佐藤 祐幸

昭和四―五―一

株式会社カネス杉澤事業所
代表取締役

杉澤 光雄

西桔梗町八六三―一

株式会社高木組
代表取締役社長

黒田 憲治

東雲町一九―一三

株式会社アドバンス
代表取締役

小坂 三男

柳町三―一六

株式会社丸み佐藤商店
代表取締役

佐藤 止昭

新川町一―二五

NHK函館放送局
局長

正田 真

千歳町一三―一

アクサ生命保険株式会社函館営業所
函館営業所長

熊谷 直浩

本町八―一八
五稜郭本町ビル

株式会社博善社
代表取締役

小泉 康祐

末広町一〇―一二

株式会社ふじでん
代表取締役

佐藤 賢治

昭和四―一四―六

龍文堂印刷株式会社
代表取締役

庄司 澄枝

日乃出町二八―二



春

株式会社北洋銀行 函館中央支店
執行役員支店長

高橋正幸

若松町一五―七―一一

株式会社道水
代表取締役会長

高野洋藏

豊川町二七―五

来夢ハウス
辻木材株式会社
代表取締役社長

辻秀明

北斗市七重浜八―九―一二

前側石油株式会社
代表取締役社長

田中康彦

大手町三一―一

北海道乳業株式会社
代表取締役社長

田島久吉



昭和三一―六―一六

株式会社竹田食品
代表取締役社長

竹田寿広

浅野町三一―一〇

株式会社ルネサス北日本セミコンダクタ
執行役員函館工場長

中村圭一

七飯町字中島一四五―一



五稜郭タワー株式会社
専務取締役

中野恒

五稜郭町四三―九

株式会社エスイーシー
代表取締役社長

永井英夫

末広町二二―一



日新産業株式会社
代表取締役

寺西隆経

吉川町八一―四
(〇一三八―四一―二三〇六)

株式会社ニシカワ産業
代表取締役

西川清一

桔梗町四〇六―四一

成沢機器株式会社
代表取締役社長

成澤茂

宮前町一六―一

株式会社不二屋本店
代表取締役社長

名取明彦

西桔梗町五八九―四六

株式会社函館国際ホテル
代表取締役社長

中村由紀夫



大手町五一―一〇

頌

函館工又デーケー株式会社
代表取締役社長

林崎 昭夫



鈴蘭丘町三―六三

函館水産市場仲卸協同組合
理事長

本間 正彦

豊川町二七―六

株式会社SHR函館
口ワジュールホテル函館
総支配人

道上 浩之

若松町一四―一〇

北海道旅客鉄道株式会社函館支社
取締役函館支社長

幅口 堅二

若松町一二―五

函館山口ープウエイ株式会社
代表取締役社長

本間 秀行

元町一九―七

函館魚市場株式会社
代表取締役社長

松山 征史

豊川町二七―六

野村證券株式会社函館支店
支店長

秦 賢蔵

本町三一―一五

丸栄堀川紙器株式会社
代表取締役社長

堀川 昭雄

東雲町九―九

ホンダカーズ北海道株式会社
代表取締役社長

松本 榮一

昭和四―三六―二二

株式会社北海道輸送
会長

日光 忠男

西桔梗町八六四―一

株式会社二本柳慶一建築研究所
代表取締役

二本柳 慶一

青柳町三九―一二

株式会社工藤組
代表取締役

福西 秀和

石川町一六九―七

株式会社北海道新聞社函館支社
支社長

松田 哲義

五稜郭町三一―三

春

株式会社商工組合中央金庫函館支店
支店長

宮崎 真

若松町三一六

株式会社北海道銀行 函館支店
常務執行役員 函館支店長

村上 則好

本町七一八

村山ギソ一株式会社
代表取締役

村上 岩夫

入舟町一一七

東栄株式会社
代表取締役社長

棟方 次郎

西桔梗町五八九一〇七

株式会社ヤマサ宮原
代表取締役

宮原 秀夫

豊川町二一一八

函館商工信用組合
理事長

山本 富靖

千歳町九一六

株式会社魚長食品
代表取締役

柳沢 政人

豊川町二二一一二
(〇一三八一六六一八一一)

株式会社森川組
代表取締役社長

森川 基嗣

海岸町九一二三

株式会社村瀬鉄工所
代表取締役社長

村瀬 充

昭和一一三四一一

株式会社はこだてティールーム
代表取締役社長

渡辺 良三

若松町一八一

函館日産自動車株式会社
取締役社長

渡部 禎一

石川町六〇

金森商船株式会社
代表取締役

渡邊 兼一

末広町一四一一二

株式会社道南食肉センター
代表取締役

吉村 昭夫

西桔梗町五八九一四六



04010001

函館市五稜郭町十六番十三号

函館青色会館三階

社団法人函館地方法人会

会長 堀川 昭雄

あけまして おめでとうございます



— 今年も早期提出を目指しガンバリましょう —

お健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。迎える平成24年も中小企業者にとって厳しい年となりそうですが皆様と共に研鑽しあい励ましあい少しでも良い年にいたそうと努力してまいる所存です。

変らぬご指導、ご支援をお願い致します。

平成24年 元旦

0040-0001 函館市五稜郭町16番13号

函館青色申告会

会長 原 隆 俊
役員 職員 一同

電話 (0138) 55-3271 番
F A X (0138) 55-9929 番

失敗から学ぶ 企業再生

愛人は『つますきの石』

とかく中小企業の経営者は、「会社と家庭は別」と考えがちだが、これはとんでもない勘違いである。例えば、中小企業の社長は家庭や夫婦仲が冷え切っているにもかかわらず、従業員や取引先に心から笑顔で接することができるものだろうか。日々の判断、決断、実行が求められる経営に、適切に対処できるものだろうか。家庭を侮ってはいけない。家庭倒産は企業倒産の第一歩である。では、一例を紹介しよう。

Fさんは、平成7年に東京で脱サラし、奥さんの実家、新潟市に文具・事務用品の製造販売会社を立ち上げた。主力商品は、ポリプロピレン樹脂で作ったホルダーやファイル、キャリーバッグの類である。単価こそ安いですが、原価はせいぜい1～2割程度なので、利益率はかなり高かった。Fさんが営業を、

奥さんが経理を担当して6年目、大手の事務器会社とOEM(相手先ブランド製品)契約を結ぶに至って、業績が飛躍的に伸びた。そこで工場を拡張し、従業員を増やし、ついでに愛人までつくったのが運の尽きとなった。

たちまち奥さんに知られ、家庭も経営も暗転していく。まず、奥さんが変わった。会社の金で高級外車を買っては乗り回す。自宅のリフォーム代も高級家具の代金も会社持ち。東京の大学に入った娘のマンションへ毎週通うが、その新幹線代も会社の出張費。このすさまじい公私混同に従業員の士気はガタ落ち、やがてナンバー2が会社を辞めていった。それでもFさんは、何も言えない。自分が愛人のマンションから出勤するようでは、言えるはずもない。やがてこの噂が広まり、仕入れ先からは現金取引を要求され、メインバンクからは融資をストップされ、平成18年、倒産を余儀なくされた。

Fさんは、愛人をつますいた。奥さんさえ幸せにできない人間が、社員や従業員を幸せにできるはずがない。家庭さえ仕切れない人間が、会社を仕切れるはずがない。世間も銀行も取引先も、皆そう思ったからである。

八起会 会長 野口 誠一

職員コラム

吉村 麻美



所属：総務課
年齢：24歳
趣味：吹奏楽
担当業務：貸し会議室、函館警察官友の会事務局
北海道新幹線函館資材協力会事務局

平成23年度より、小学校において新学習指導要領が全面実施され、5・6年生で年間35単位時間の「外国語活動」が必修化されました。

外国語活動においては、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標として様々な活動が行われています。

私は、大学生のときに、小学校英語指導者資格を取得し、実際に幼稚園や小学校での英語活動を体験しました。学習初期の子どもの英語教育は、頭で考えないで身体で

リズムを習得し、シャワーのように英語を聞かせることが大切で、子どもたちは歌やゲーム、ダンスをしながら、身体全体で英語を表現しようとしたり、挨拶や自己紹介などの簡単な英会話を楽しみながら行っていました。子どもたちの吸収力は非常に高く、特に聞き取りが優れていて、ほとんどの子どもたちがネイティブに近い発音をしていたことに驚きました。

私がオーストラリアに留学したとき、ホストファミリーはベネズエラ人で、スペイン語と英語を話し、彼らの娘は小学校で日本語を習っていて、11才で3か国語を話すことができました。私が感心していると、ホストマザーが「英語は世界の共通語だから、この子が世界中の人と話せるように2才から英語を教えているのよ。あなたも間違えることを恥ずかしがらずにどんどん会話しなさい。『言葉』というのは、コミュニケーションをとるための道具なんだから、使わないと上手くならないわよ」と言い、私は間違いをあまり気にせずに話すことができるようになりました。

早期の外国語教育は、賛否両論ですが、外国語に慣れ親しみ、文化や生活に理解を深めることで、中学・高校での英語教育に関心が高まり、今後ますます国際化していく社会に対応できる人材を育成することができるのではないのでしょうか。



Colors in Future

龍文堂印刷株式会社

URL: <http://www.ryubun-do.co.jp/>

Email: info@ryubun-do.co.jp

〒040-0022 函館市日乃出町28番2号

TEL(0138)53-2231(代) FAX(0138)53-4355

取扱期間 平成24年3月31日まで

日本公庫 国民生活事業は、事業を営むみなさまの新たな設備投資を応援!

設備資金の当初2年間の利率を
0.5% (年利) 引下げ!!

0.5% ディスカウント!
※挑戦支援融資制度および海外展開資金を除きます。

平成23年度第3次補正予算成立!!

お使いみちの
制限なし!

※事業用の設備資金に限ります。
※取替や更新のための設備でも
取扱可能です。

業種の
制限なし!

※金融業、投機的事業等の一部
の業種の方にはご利用いた
だけません。

運転資金も
最大0.5%
引下げ!

※売上げ減少等の要件に該当
する方および雇用維持・拡大
を図る方の運転資金の利率
を引下げます。

■次の設備も対象になります。

店舗・工場・事務所	増改築およびリフォーム、改装、補修
機 械 ・ 器 具	中古機械の購入、老朽化に伴う機械の更新
車 両	営業用ハイブリッド車の購入、営業用車両の更新
そ の 他	パソコンの更新、移転に伴う入居保証金、営業権 (のれん) 取得資金

※審査の結果、お客さまのご希望に添えないことがあります。



日本政策金融公庫

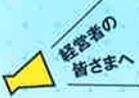
国民生活事業

日本公庫

検索

※ご不明な点は、函館支店 (国民生活事業) までお気軽にお問い合わせください。

TEL 0138-23-8291



中小企業の強い味方

ジョブ・カード制度



～ 自社のニーズに合った人材を育成・確保できます! ～

■ジョブ・カード

求職者の職業能力を証明する4種類のシート(①履歴シート、②職務経歴シート、③キャリアシート、④評価シート)です。履歴書などにはない求職者に関する詳細な情報が記載されているので、短時間の採用面接では分からない求職者の職業能力やレベルなどを客観的に評価できます。

■ジョブ・カード制度

ジョブ・カードを活用した職業訓練を通じ、有能な人材を育成・確保したい企業と正社員の経験が少ない求職者などとのマッチングを促進する国の制度です。職業訓練を実施する企業では、訓練生の適性や能力などを判断したうえ、正社員として継続雇用できます。また、一定の要件を満たす場合には、国からの助成金や奨励金を受けられます。

ジョブ・カード普及サポーター企業

～ジョブ・カードを採用ツールとして活用する企業～



全国各地の地域ジョブ・カード(サポート)センターでは、ジョブ・カード普及サポーター企業を支援しています。

日本商工会議所 中央ジョブ・カードセンター
函館商工会議所 北海道地域ジョブ・カードサポートセンター



日本商工会議所 <http://www.jc-center.jp>
厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp>